# しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

令和３年11月定例会の内容をお届けします。

2022 No. 82
令和４年２月15日発行

特集

# 地域おこし協力隊 & 市議会

川根地区
村松元巳（むらまつはるみ）さん(47) 神奈川県から

伊久身地区
渡辺威夫（わたなべたけお）さん(30) 東京都から

にお話を伺いました。

左：村松元巳（むらまつはるみ）さん、右：渡辺威夫（わたなべたけお）さん

## 毎日が発見！地域の魅力
## 活動の輪をひろげ発信！

島田市地域おこし協力隊の村松さん、渡辺さんは都市部から川根地区・伊久身地区へ移住し、地域活性化の活動に取り組んでいます。お二人は3年間島田に居住して、地域ブランドのPRや地場産品の開発、販売等の地域おこしに対する支援、農林業への従事、地域行事への参加や運営支援などの「地域協力活動」を行いながら、それぞれの地域への定住・定着を目指しています。

**《島田市へ来たきっかけは何ですか?》**

**村松**：林業と出会い、生業として生きていこうと決めた時、島田市地域おこし協力隊を知ったことがきっかけです。

**渡辺**：2011年、東京農業大学在学中に委員会活動の一環で伊久身地区を訪れ、イベントの企画運営に携わったことがきっかけです。

**《協力隊として、どのような活動をしていますか?》**

**村松**：川根地区を中心に、地域の方と協力し山林整備に取り組んでいます。また、自伐型林業（注1）にも挑戦しています。その他、川根地区のお茶工場で手伝いもしていました。

**渡辺**：主に、伊久身地区で無農薬栽培されたお茶を、試験的にオンラインや東京農業大学関連のマルシェで販売しています。（注2）

**《嬉しいことは何ですか?》**

**村松**：森林整備をしていて、道が切り開かれていく時、達成感を感じます。また「お疲れさま」「ありがとう」など、皆さんから

声を掛けていただいた時はとても嬉しいです。

**渡辺**：伊久美茶が売れると嬉しいです！それと、活動の輪がだんだんと広がっていることを感じた時も嬉しいです。

**《今後は何をしたいですか？》**

**村松**：「自伐型林業」をキーワードに今後も地域おこしの活動をしていきます。仲間が増えていくと活動の幅が広がるので、仲間集めにも力を入れていきたいです。また、遊休資産の利活用にも取り組んでいるので、引き続き頑張っていきます。

**渡辺**：伊久美茶に付加価値を付け、商品価値を高める取り組みに引き続き取り組んでいくとともに、マーケティングにも力を入れていきます。伊久身地区の未来に向け、何か残せないかと日々模索しています。

**《島田市に望むことはありますか？》**

**村松＆渡辺**：地元の方々や市長をはじめ市には、さまざまな形でご理解とご協力をいただいています。今後ともよろしくお願いします。

**今後のお二人のご活躍を大いに期待するとともに、議会も応援していきます。**

（注1）自伐型林業とは…採算性と環境保全を高い次元で両立する持続的森林経営です。参入障壁が低く、幅広い就労が期待されています。

（注2）東京農業大学の学生が運営するインスタグラム「ＴｅａＨａｎａｅｍｉ」では、学生達がマルシェ等で活動する様子がご覧いただけます。

# 定例会の概要

# 一般会計27億457万1千円を増額 令和3年度補正予算など可決

令和3年11月市議会定例会を、11月24日（水）から12月21日（火）まで、28日間の会期で開催しました。

**11月24日（水）本会議初日　専決処分2件、議案15件上程**

令和3年度一般会計補正予算（一般会計1件・特別会計4件・病院事業会計1件）のほか、専決処分の報告2件、条例改正案3件、一般議案6件が提出されました。

**11月30日（火）本会議　追加6議案を上程・可決**

令和3年度子育て世帯臨時給付金（5万円）の支給に係る一般会計補正予算1件と人事院勧告に伴う条例改正案5議案が追加提出され、一般会計補正予算および市議会議員の議員報酬、特別職の職員の給与、教育長の給与、病院事業管理者の給与に関する条例一部を改正する条例については全員賛成で可決、市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については賛成多数で可決しました。

**12月2日（木）～6日（月）　本会議（一般質問）**

18人の議員が一問一答、1人の議員が包括質問による一般質問を行い、当局の考えについて、各議員が質問や提案をしました。

（8～17ページ）

**12月8日（水）本会議（議案質疑）**

延べ6人の議員が令和3年度一般会計補正予算および市長専決処分などの詳細について、質問をしました。

（5ページ）

**12月9日（木）～10日（金）　予算・決算特別委員会分科会、常任委員会の議案審査**

予算・決算特別委員会3分科会および厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会を分散開催で実施し、付託された議案審査を行いました。

（6～7ページ）

**12月13日（月）　予算・決算特別委員会全体会の議案審査**

3分科会の分科会長報告、委員会としての採決を行いました。

**12月21日（火）　本会議最終日　専決処分4件、追加議案4件、発議案2件、計21議案可決**

3常任委員会での審査内容と結果について、各委員長が報告しました。また、市長専決処分による報告4件、令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金（追加給付5万円）の支給についてなどの一般会計補正予算3件と病院事業会計補正予算が追加提出され、2人の議員が議案質疑を行いました。定例会初日に提出された専決処分の2件を除く15件と合わせて21議案の採決を行い（専決処分4件を除く）、討論を経て賛成多数で可決、または全員賛成により可決しました。

（18～19ページ）

〈議案第88号　令和3年度島田市一般会計補正予算（第9号）〉

## Pick up 1　川根温泉ふれあいの泉 バーデ棟の今後は

**Q　バーデ棟の現状の調査と今後の計画は。**

**A**　躯体の鉄骨の老朽化により、令和3年8月末から休業している。指摘を受けている躯体の鉄骨部分だけではなく、施設設備の劣化度合いを改めて調査し、対策に係る費用などを把握していく。営業再開を望む声があることは承知をしている。何とか再開できるようにしたい。一方で、大規模改修が必要となった場合、費用はもちろん、川根温泉全体の将来構想と整合を図っていくことが、課題となっている。単純に改修するという選択肢だけではなく、その他の選択肢の可能性もある。

〈議案第88号　令和3年度島田市一般会計補正予算（第9号）〉

## Pick up 2　新型コロナウイルスの ワクチン接種リスクの案内は

**Q　ワクチン接種に関するリスクは。**

**A**　接種によるリスクは全くないとは捉えてはいない。リスクがないワクチンは基本的にはないものと考えている。

**Q　厚生労働省が発表したワクチン接種後の重大な副反応（心筋炎）についてのお知らせは。**

**A**　心筋炎に関する情報は、予防接種についての説明書に記載されており、接種券の送付の際対象者全員へ同封する。このため、このことを加えた新しいしまだ新コロナナビは、現段階で作成する予定はない。

〈議案第88号　令和3年度島田市一般会計補正予算（第9号）〉

## Pick up 3　改修する健康管理システムの 利用方法は

**Q　健（検）診結果利活用に向けたシステム改修とのことだが、健（検）診結果の利活用とは。**

**A**　健診結果などの情報を標準化し統一することで、市町村間の情報連携により、転居があっても健診結果などの把握ができ、より適切な保健指導や健診の受診勧奨などを行うことが可能となる。また住民は、パソコンやスマートフォンなどを通じて、自身の健診情報にアクセスできるようになる。自身の健康に関する情報を正確に把握でき、健康管理に活用することなども可能となる。

〈報告第22号23号　専決処分の報告について（物損事故に係る和解及び損害賠償の額の決定）〉

## Pick up 4　専決処分の事故の状況は

**Q　同じ大柳で道路陥没による車両破損事故が2件起きている。日頃の道路維持管理とパトロールの状況はどうか。**

**A**　市内全域を網羅できるよう週2回の道路パトロールを行っている。加えて、現業職員の作業班とすぐやる課の職員が現場に出たときにパトロールを実施している。パトロールでは、主に道路の陥没箇所がないか確認を行い、簡易なものはその場で補修し、事故防止に努めている。市民からのLINE、メール、電話等での通報を受け付け、その対応も迅速に行っている。

# 常任委員会および予算・決算特別委員会報告

**厚生教育常任委員会・分科会**

## 新型コロナウイルスワクチン接種の案内はていねいに！

### 令和３年度 一般会計補正予算

**●コロナワクチン接種事業**

**Q 対象者への接種券の配布はいつからか。**

**A** ３回目が可能な日から１カ月前を目安にしている。

**Q 現時点で１回目と２回目を接種してない人への案内はどのような内容か。**

**A** 同調圧力とならないよう配慮しながら、接種は強制ではない、同意がないと受けられないことも案内に入れるつもりである。

**Q ３回目の接種者に送る資料はどのようなものがあるか。**

**A** ファイザー社の説明書を送るつもりだ。

**Q 20歳以下の人にワクチン接種を勧める理由は何か。**

**A** 集団免疫の効果期待と、自身の感染予防、周りへの感染予防である。

**※集団免疫**…人口の一定割合以上の人が免疫を持つことで感染患者が出ても他の人に感染しにくくなり、感染症が流行しなくなる状態のこと

**●健康管理システムの改修事業**

**Q このシステムはいつから利活用されるか。**

**A** 全国規模の改修のため、マイナポータルでの個人の閲覧については来年度早期と聞いている。

**※マイナポータル**…子育てや介護などの行政手続がワンストップ化、連絡確認ができるサイト

広報しまだワクチン接種のお知らせ

### 島田市介護保険事業特別会計補正予算

**Q 高齢者配食サービス事業の内容は。**

**A** 調理が困難な高齢者に対して、週６回まで昼の配食サービスを行っている。

**Q 利用状況はどうか。**

**A** ひと月あたり約１６０人。

### 島田市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

**Q 分娩できない状況だが条例改正する理由は。**

**A** 産婦人科の医師や医療スタッフの確保に努めており対応するためである。

### 島田市北部デイサービスセンターほか２施設の指定管理者の指定

**Q 指定管理料の変更はあるか。**

**A** 介護保険事業の収入により指定管理者が運営するため、市からの指定管理料の支出はない。

**Q 指定管理の内容についてどう判断しているか。**

**A** 若干、人件費の占める割合が高いが、職員数や資格に配慮しており、利用者の安全対策につながる。また、職員の雇用は地域の人を採用し、利用者との信頼関係も築けていると認識している。業務の効率化については、３地区の調理を一元化した。

### 所管課からの報告

**●市町対抗駅伝大会**

12月４日に開催された市町対抗駅伝大会において、島田市は６位入賞という大健闘であった。表彰する場面等を今後検討したい。

島田市６位入賞おめでとう！

## 経済建設常任委員会・分科会

# 川根温泉バーデ棟の早期再開を望む

### 令和3年度 一般会計補正予算

**Q 温泉施設費の補正理由および内容は。**

A 鉄骨の劣化に伴い、休業しているバーデ棟の劣化度合いと、設備を含めた施設全体の劣化度合いの確認。また、対策のための課題整理に関する調査等の経費である。

**Q 今後の目標は。**

A 年度内に対策方針を固めていきたい。

**Q 休業解除の条件は。**

A 修繕等の対策が措置されて利用者の安全・安心が確保された時点で休業を解除する。

**Q バーデ棟のみ老朽化が進んだ理由は。**

A バーデ棟の建物は鉄骨造であり、温泉の成分（古海水）によって腐食があったものと推測される。なお、それ以外の温泉棟等の施設全体は木造である。

老朽化で休業中の川根温泉バーデ棟

### 市道路線の認定について

**Q 道悦四丁目16号線は、混雑して事故が多く、危険度が増している。安全面で問題はないか。**

A 隣接地権者や自治会長の承諾もある。現況の市道に合流する地点に関しては、両側に隅切りをつけて安全対策を図っていく。

## 総務生活常任委員会・分科会

# 次年度のコミュニティバスの事業計画に期待！

### 令和3年度 一般会計補正予算

**●歳入**

**Q ふるさと寄附金の見込みはどうか。**

A 約2億2千万と見込んでいる。

**●債務負担行為補正**

**Q コミュニティバス事業の今後の計画は。**

A 新たな地域公共交通計画の策定は、令和4年、5年をかけて策定していく予定だ。

**Q ゴミ資源収集運搬委託費の減少の理由は。**

A 収集時間を見直し、作業効率を上げた。

### 所管課からの報告

**●富士山静岡空港滑走路安全区域の拡張**

国際基準の改定により、従来の40mを90mに延長する工事が令和4年度から8年度にかけて行われる。

**●島田駅南北自由通路ガラス装飾事業**

島田市緑茶化計画のデザイン画が12月18日までにガラス全面に配置される。

装飾が完了した島田駅南北自由通路のガラス

# 市長に質（ただ）す！

# 一般質問 Q&A

**市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。**

島田市議会11月定例会では、18人の議員が一問一答方式（議員が一つの質問をし、市長等も一つずつ答弁する方式）、1人の議員が包括方式（議員がまとめて3回まで質問を行い、市長等もまとめて答弁する方式）を選択し、質問を行いました。

今号では、19人の議員の個人質問の内容の一部を紹介します。

**一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。録画映像はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることができます。**

このQRコードからどうぞ！

一問一答

## ハザードマップの活用法はいかがか？

森（もり） 伸一（しんいち） 議員

**Q 土砂災害ハザードマップ配布の目的は何か。**

**A** 日頃から住んでいる地域の洪水時における浸水の深さや場所、大雨による崖崩れや土石流、地すべりなどの注意すべき場所を確認しておくことで、いざというときの速やかな避難行動につながるよう活用していくためだ。

**Q 危険度の高い地区の住民にはどのような対応をしているか。**

**A** 土砂災害対応訓練は、年一回、地区を決めて、情報伝達や住民避難訓練を実施している。

**Q 地元の住民から説明会などの要望が出た場合はどのように対応するか。**

**A** 自主防災会から申し出があれば、訓練も一緒に行いたい。

**Q 危険度の高い斜面などの防災工事の方針はどうか。**

**A** 施工主体は県で、保全対象や緊急度等を総合的に判断して、優先順位を決めている。

**Q 災害時に火災が生じた場合、自主防災組織担当の初期消火のための水源はどこか。**

**A** 消火栓は消防が使う予定なので、河川や用水路等の利用となる。

**Q 水源の位置を周知するため、地区ごとの防災マップに載せるとよいと思うが、策定状況はいかがか。**

**A** 現在、自主防災組織133のうち35件が完了している。策定増に向けて取り組んでいきたい。

旧市内の防災マップ

一問一答

# 市長の「縮充」の考え方と市政方針を問う

天野（あまの） 弘（ひろし） 議員

**Q 市長は、今後の人口減少の時代において施策を選択し資源を集中させる「縮充」を市政の方向としている。市長の考える選択の基準とはどのような内容か。**

A 統一的な基準ではなく、市民の考えや地域性などを総合的に判断し決定していく。

**Q 選択で選ばれなかった人へのケアが必要ではないか。十分すぎる説明が重要と考えるが。**

A 事業の実施判断には、市民との対話を大切にして取り組む。

**Q 島田市立地適正化計画が策定中であるが、本計画の区域設定は選択と重点化に当たるのか。**

A 区域設定は重点化ではあるが、選択とは捉えていない。

**Q 「縮充」の実現には住民の行政参加が大切とされるが、「縮充」にとっての住民参加の考え方は何か。縮小の時代、将来性のある施策を示すことも大切と思う。**

A 協働のまちづくりの重要性を認識し興味を持つ市民を増やしていきたい。また、観光や資源循環など将来性の施策に取り組む。

## ユニバーサル農業の取組は

**Q 本市での実態と、行政での取組状況はどうか。**

A 実態は把握していない。市では取り組んでいないが、県ではワンストップ窓口を設置するなどさまざまな支援を行っている。今後、県や農協等と連携する。

障害者によるハウス内清掃作業

一問一答

# 3回目のワクチン接種も円滑な運営を！

大関衣世（おおぜききぬよ） 議員

**Q これまでの新型コロナウイルスワクチン接種状況はどうか。**

A 接種希望者の89％が接種済みである。（11月末現在）

**Q 副反応の報告はどうか。**

A 深刻な副反応の報告はない。

**Q 2回の接種で市民からの問い合わせにどのように対応したか。**

A コールセンターの回線の増設やスタッフの増員、予約枠の拡大や接種会場の追加等で対応した。

**Q 若い世代への接種促進はどうか。**

A 夏休みを接種期間とした。また、小児科医と共に監修した「しまだ新コロナビ」で接種に関する情報を提供し、子どもと保護者の理解につなげた。10月に未接種者に勧奨通知を発送した。

**Q 誤接種の経緯と今後の対策は。**

A 使用済みの注射器を未使用と誤認して接種した。健康被害は無かったが、医療機関に接種体制を指導し再発防止に努める。

**Q 3回目の接種ではワクチンの種類を選択するが、それぞれの特徴と接種体制はどうか。**

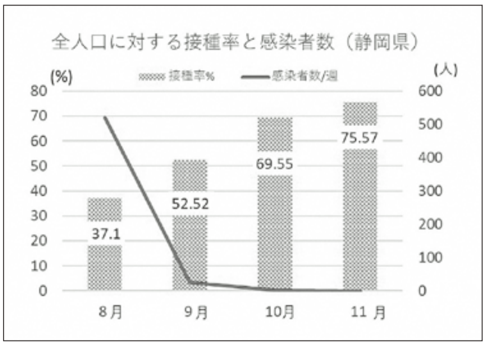
A 希釈や接種量に違いがある。誤接種を防ぐ意味で、接種日時や接種会場ごとにワクチンの種類を指定する予定だ。

**Q 偏りが出ないか。**

A ワクチンの正しい情報を提供し、安心できる接種体制をつくる。

**Q 5歳から11歳の接種の方針は。**

A ワクチンはファイザー社製で、小児科医と協議し準備していく。




接種率と感染者数の推移（静岡県）

一問一答

## 小中学校のICT環境改善を！

ふじもとよしお
**藤本善男 議員**

**Q 教育現場のICT機器中、教員用タブレットの充足率は74%だ。追加補充すべきではないか。**

A 業務用端末を使って基本的な作業は可能であり、児童生徒数の動向による調整で対応する。

**Q 通信速度やスペースの課題は。**

A 大規模校では、全教室で同時に動画を閲覧するのは困難である。学習スペースは、新規格の広い机でも手狭な状況になっている。

**Q 通信環境改善のため、通信速度を5倍程度に増強すべきでは。**

A 小中学校の通信ネットワークの整備により、学校周辺の回線に負担が生じているため、専用回線への切替え等を検討したい。

**Q ICT化に対する学校施設の在り方について、文部科学省作成の中間報告は届いているか。**

A 正式な通知は届いていない。

**Q 中間報告では既存の平均的な教室は手狭なため、学校建設時にサイズ検討が必要とのことだが、教室の広さや机の大きさなど、第一小学校建設の状況はどうか。**

A 一教室あたり、67・4平方メートルで計画している。机の規格拡大については対応できる可能性が少ないと考えている。

**Q 次年度のICT支援員確保に向けた市の考えは。**

A 教員は授業でICTを活用することがますます求められるので、ICT支援員は、長期的な計画で複数年契約にしていきたい。

タブレットを使うと、机からはみ出ちゃう！

一問一答

## 将来を見据えたまちづくりを期待

おおむらやすじ
**大村泰史 議員**

**Q 中心市街地における高齢化の現状はどうか。**

A 中心市街地の高齢化率は上昇しており、特に商業地域、近隣商業地域に指定する箇所で高い傾向にある。

**Q 予想される空き家の状況を見据えたまちづくりの計画は。**

A 換地、集約、区画再編など、目的別の小エリアを設定し、空き家、空き店舗を活用したプロジェクトを今後、検討していく。

**Q 集約型の都市構造がもたらす郊外に生活拠点を置く高齢者への対応策は何か。**

A 集約型都市構造では、拠点間や地域間を効率的、効果的に運行する公共交通施策が重要である。

**Q 農業従事者の高齢化、後継者不足に対する取組はどうか。**

A 農業を取り巻く環境は非常に厳しいものとなっている。5年後、10年後を見据えた地域農業の将来図である、人・農地プランの実質化に取り組んでいく。

### 森林環境譲与税の活用を

**Q 他の自治体における森林環境譲与税の活用事例をどう捉えているか。**

A 森林の荒廃、木材利用の低迷化、担い手不足といった本市の課題解決につながる事例があれば、参考にしていく。

市民が集えるまちづくりを期待する

## 一問一答
# 初倉地区 小中一貫校は慎重に!!

よつやめぐみ
四ツ谷恵 議員

**Q 学校再編の提案は、いつどこで、どのような経緯で提起されたか。**

A 初倉地区の再編方針は平成30年9月に提出された島田市教育環境適正化検討委員会提言書の中で示された。

**Q 地元から再編要望があったか。**

A 地元の要望を受けて検討を始めたものではない。検討委員会が実施したアンケート結果を地元の意見と捉えている。

**Q メリット、デメリットが十分知らされていない中でアンケートを行っている。先生や子どもたちの意見はどうか。**

A 丁寧に情報提示し、先進事例の視察や勉強会を、チラシ、組回覧、HPで周知してきた。9月に再度、保護者、地域住民にアンケートを実施した。北部地区説明会で「大人の責任で判断すべき」と住民合意し、市の方針とした。

**Q 「初倉地区小学校再編における初倉南小の統合廃止を求める請願書」の扱いは現在どのようになっているか。また、どのように受け止めているか。**

A 3校同時統合ではなくなったため、教育委員会で保管している。保護者の意見を十分にくみ取り、丁寧な説明が必要だと受け止めている。

**Q 再編方針決定の進め方はどうか。**

A 令和4年1月に初倉地区再編方針検討委員会提言書を協議し、今年度中に方針決定していく。

初倉小との統合で廃校になった湯日小学校

## 一問一答
# 市のリソースを最大限利用し 収入確保を

さげさかだいすけ
提坂大介 議員

**Q 当市の財政状況に対する認識は。**

A 地方公共団体の健全化判断比率の指標は健全な状態であると認識している。

**Q 財源は潤沢と言えるか。**

A 何を持って潤沢と表現するか難しいが、全国自治体の中では平均以上の財政力であると考えている。

**Q 積極的に市の収入を増やすことを考えているか。**

A ふるさと寄付金や市有地の売却等の収入確保に努めている。

**Q 市の収入を増やすためにも、市ホームページへのバナー広告掲載等の再開はどうか。**

A 運営費と収入のバランスを見ながら判断していく。

### 水資源を利用した観光を

**Q 大井川とその支流を利用した観光について、どのように考えているか。**

A 癒しにつながる地域資源が多く、水をはじめとした豊かな自然環境が大きな強みである。自然体験コンテンツの充実を図っていく。

**Q 市内外へのPRだけでなく、地元客、子どもたちを中心に自然体験をさせてはどうか。**

A 市では、笹間川でのキャンプ等、しまだガンバ！という自然体験を行っている。また、サタデーオープンスクール等、さまざまな体験活動も行っている。

キレイな笹間川で子どもたちと秋を堪能！

一問一答

# 生活交流拠点施設は地域と連携を！

清水唯史（しみずただし） 議員

**Q 金谷公民館の業務方針は。**

A これまで培ってきた公民館活動を承継していくことを基本とし、その上でソーシャル・キャピタルの醸成・向上を通じ、事業者提案にある多世代の交流プログラムなどをキーワードに地域コミュニティの活性化に向けた施設を目指す。

**Q 防災センター改修後の計画は。**

A 地域コミュニティの活性化に向け、金谷地区の活動団体の連携拠点施設としての環境を整える。

**Q 金谷南・北の両支所統合の地域への周知は。**

A 平成27年から説明しているが、今後も広報活動を進める。

**Q 支所統合に対して不便を感じる市民への対応は。**

A 事業者に移動手段の提案を期待したが提案は無かったため、コミュニティバスなどの利用を通じて移動手段の確保をしていきたい。

**Q 跡地敷地内に設置されていた金谷町民憲章石碑と埋設されていたタイムカプセルの取り扱いは。**

A 新施設の配置計画では旧庁舎敷地内では難しいため、みんくる敷地内を含め、場所の決定と保存を検討する。

**Q 「縮充」の考えから市長は南北支所の統合をいかに考えるか。**

A 機能の統合はあるが、今回の生活交流拠点施設整備を地域の活性化につながるものとしたい。

取り壊しが進む旧金谷庁舎

一問一答

# 「島田市立地適正化計画案」を問う!!

石川晋太郎（いしかわしんたろう） 議員

**Q 計画は人口減少社会を前提として策定されている。今後20年に渡り、人口減少が少ない六合地区が大きく居住誘導区域から外されている理由は何か。**

A 六合地区、とりわけ東町、岸町が居住誘導区域から除外されている理由は、農用地区域（青地）や公共交通不便区域に含まれていることによるものである。

**Q 計画内の居住誘導区域は、全て公共交通不便区域ではないか。**

A 公共交通の基準を満たしていない地域もあるが、現在、今後の公共交通の充足を検討していることから、居住誘導区域に含めている状況である。

**Q 計画内の居住誘導区域に農用地区域（青地）が入っていないか。**

A 農用地区域（青地）を含めたエリアで区域を設定している地域もある。

**Q 計画を運用したとき、居住誘導区域外に住む市民にデメリットはないか。**

A 居住誘導区域の外だからといって補助金が出ない、インフラ整備の優先順位が下がるということはない。また、開発行為については、届出が必要になるが、その行為自体を制限することはない。そのため、民間の開発を抑制することはないものと考えている。

島田の未来にとって大事な計画です

一問一答

## 担い手に持続可能な茶業を

八木伸雄（やぎのぶお） 議員

**Q 静岡県のお茶産出額は、令和2年、鹿児島県に抜かれ全国2位となった。当市の茶産出額は10年前の4割減だ。茶業存続のためには荒茶単価が上がることが不可欠だが、茶商や製茶問屋の販売促進の支援の取り組みは。**

A 県内外のイベント販売の支援を行っている。海外輸出の支援策としては有機JAS認定経費や残留農薬検査費、海外見本市への出品経費を補助している。

**Q コロナ禍での支援内容は。**

A LINEクーポンや国の緊急対策事業を活用して在庫茶の買取りを行い、施設へ寄付した。

**Q 国内イベント販売促進の予算の増額と営業社員のPCR検査等の補助をすべきではないか。**

A 茶業振興会に意見を伝える。

**Q 現在の反収（たんしゅう）で認定農業者の所得を維持するには、茶園面積5haが必要。農地の集積・基盤整備が急務だ。取り組みを伺う。**

A 基盤整備を進めている。さらに人・農地プランの実質化に向けていきたい。

**Q 鹿児島県ではスマート農業導入により摘採の無人化も始まっている。福岡県八女市では小規模茶工場の機械修理の補助や茶樹の伐根の支援もしている。経営体に即した支援ができないか。**

A 稼ぐ茶業の出口戦略をJA、国、県と一体となって取り組み、市単独で行えることは行う。

基盤整備が進められる西原（五和）地区

一問一答

## コンパクトシティの考えから外された地域の今後

井上（いのうえ） 篤（あつし） 議員

**Q 立地適正化計画案において、居住誘導区域に設定されなかった地域でも市のサービスがこれまでどおり受けることができるのか。**

A 居住誘導区域の内外にかかわらず、生活に必要な行政サービスはこれからも維持する。

**Q 居住誘導区域外の人口が減少していった時、地域の自治会やコミュニティを維持していけるのか。**

A 地域コミュニティの維持については課題だと認識しており、地域主体のまちづくりを進めていく必要があると考えている。

**Q 中山間地域は、移住定住を促すためにさまざまな取り組みを行ってきたが、今後はどうするのか。**

A 中山間地域は、過疎化、高齢化が進み、人口減少が問題になっている。美しい自然や地域資源を生かし、その魅力を発信して今住んでいる人も、これから住みたい人も安心して暮らすことのできる地域を作る必要がある。

**Q 災害危険区域は居住誘導区域から外されているが、外された地域の防災対策は、今後どうなるか。**

A 居住誘導区域外においても、引き続き防災対策に取り組んでいく必要があると考える。

居住誘導区域および都市機能誘導区域

## 一問一答 指定管理者の施設運営をどう進めるか？

曽根達裕（そね たつひろ） 議員

**Q 指定管理者制度の導入目的と施設数は。**

A 公共施設の管理に民間能力を活用することにより、住民サービスの向上と経費の節減を図ることが目的である。現在、30カ所の施設が運営されている。

**Q 定期的な収支報告会や運営会議を行っているか。**

A 月1回程度の頻度で会議を開催し、情報共有している。

**Q 施設で働く人員に関し、ある程度把握して管理しているか。**

A 指定管理者が提出する事業計画書や報告書で、人員配置状況や職員の研修状況を確認している。

**Q 会議とは別に、通常の運営状況を市の職員が確認しているか。**

A 必要に応じ施設を訪問している。

**Q 地域住民による管理運営のチェックは行われているか。**

A アンケートや面談を行っている。

**Q 第三者機関の監査はあるか。**

A 指定管理者候補者選定委員会が現地確認や書類をチェックする。

### 今後の財政と施設運営は

**Q コロナ禍において市の財政状況はどうか、現状の見込みを問う。**

A 当初予算において見積もった収入額は十分確保でき、普通交付税も、当初予算を上回る金額を確保できる見込みである。財政面で市の方針に変更はない。

**Q 今後の公共施設の運営は。**

A 感染防止策を講じて運営を行う。

城山と指定管理のばらの丘公園

## 一問一答 生活保護の申請は国民の権利です！

桜井洋子（さくらい ようこ） 議員

**Q 直近の生活保護受給世帯数は。**

A 10月現在、316世帯、387人の受給である。保護率は、0.41％である。

**Q 今年度の新規の受給状況は。**

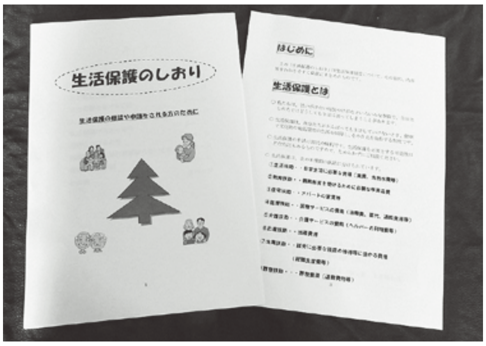
A 申請が38件あり、そのうち受給開始が31世帯だ。

**Q 生活保護の捕捉率は低く保護資格のある人の約2割といわれている。生活保護の申請は憲法25条で保障された、健康で文化的な最低限度の生活を送るための国民の権利である。生活保護への正しい知識を広め、受給者へのバッシングを変え、保護申請がためらわずにできることが必要だ。そのために、市発行の「生活保護のしおり」の内容を充実させ、より多くの市民が目にして手に取ることができる場所へ置くよう求めるがどうか。**

A 生活保護受給対象者には、制度につながるよう対応していく。また、「生活保護のしおり」の内容をわかりやすいものにして、より身近で目につきやすい場所に置くよう検討する。

**Q 保護申請をためらう理由に、扶養照会（扶養義務者に扶養が可能かを文書で尋ねること）がある。なくすべきではないか。**

A 扶養義務者が高齢者や長期入院者、音信不通の人であれば基本的には照会しないこととなっている。国のルールに則って適切に行っていく。




「生活保護のしおり」を分かりやすいものに

一問一答

## 自治会などの担い手確保に向けて

横山香理（よこやまかおり） 議員

**Q 自治会役員の中で、女性が占める割合を把握しているか。**

A 現時点で７・９％である。

**Q 自治会などが女性や若者を登用するために、どのような取組が必要であると考えるか。**

A 将来に向けて、担い手不足を解消していくに当たり、これという特効薬は見つからない。地道に住民の意識を変えていくこと、地域への愛着を育てることが一番の近道である。地域に必要なものを見極め、自ら改革していかなければ地域は変わらないという住民の意識を育む必要がある。そのため、地域住民の参画や徹底した話し合いができる機会を作らなければならない。また、市の職員が地域に飛び込んで、住民と一緒に地域づくりに参画していくことも大事である。

**Q 同感である。そのためにどのようなことに取り組んでいるか。**

A 市民協働課で地域活性化ワークショップを実施している。職員の中で、担当業務以外でも地域課題に興味を持って、積極的に地域に関わる人材を発掘、育成をして職員コミュニティーを形成していくことを目指している。同時に地域のキーマンとなる人材を発掘し、職員とともに地域課題を解決する、真のまちづくりを実践していく。まちづくりに興味がなかった人や、地域に広がることを期待している。

地域活性化ワークショップの説明会の様子

一問一答

## 命と生活のセーフティネット 今後も追及す

青山真虎（あおやままさとら） 議員

**Q 市立病院の質向上はどうするか。**

A チーム医療、説明能力の向上、安全管理をしっかりやっていく。

**Q 「子供を産み、育てやすい島田」と市長は言っていたが、長らく産婦人科が閉鎖されたままだ。医師確保に動いているか。**

A お願いをしている。

**Q 医師が揃えば分娩再開できるか。**

A 設備は整っている。

**Q 市立病院には11人の助産師がいる。院内で助産院を開設すればすぐ分娩できる。どうか。**

A 医師が多数必要である。

**Q 母子のセーフティネットは。**

A 広域でやっていく。

### 命と生活を守るインフラ整備

**Q 川口発電所付近の県道64号線で10月と11月に事故があった。自治会や私からも県に拡幅を要望した。どうなったか。**

A 令和４年度、測量・設計の予算要望をすると聞いている。

**Q 伊太やＪＲ金谷駅の周辺など、用排水路が崩壊し中には住宅の下から水が出て家が傾いて困っている人がいる。どうするか。**

A 県が今後検討していくとのこと。

**Q 草刈、コミバス、川根温泉プール、すぐやる課の増員など予算が多くかかる。財源はどうか。**

A 財政計画で検討していく。

**Q リニアの説明にＪＲがきても市長は絶対一人で会わないように。**

A 信用してほしい。ご安心を。

子どもを産み、育てやすい島田市に

## 一問一答
# 将来にむけ学区の弾力的運用拡大を

むらたちづこ
村田千鶴子 議員

**Q 今後、児童・生徒数は緩やかに減少とのことだが、いつまで想定しているか。**

A 全体人数は年々約2％ずつ減少し令和9年までは算出できる。

**Q 減少が顕著な地区はどこか。**

A 北部地区が一番大きく、金谷・川根も心配される。

**Q 指定学校の変更申請はどうか。**

A 特殊の事情がある場合は、保護者が学校や市に相談し状況を聞き取った後、申請する。児童・生徒にとって望ましいと判断する場合に許可する。

**Q 学区の弾力的運用はどうか。**

A 原則、指定学校の姿勢は崩したくない。また、保護者の要望だけで学区は変えるべきではないが、地域の総意で学区を変えていただきたいという意見については、教育委員会としても受け止めなければならない。地域で意見の統一が見られた場合には検討しなければならない。

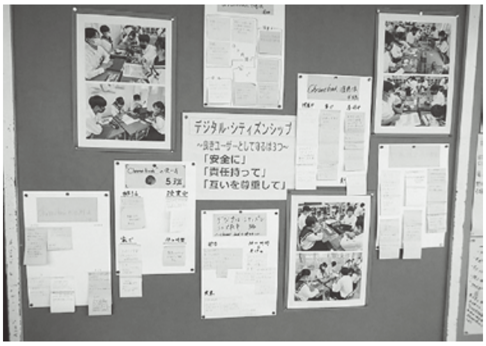
## 情報モラル教育の強化

**Q 学校での情報セキュリティは。**

A 子どもだけによるメールやチャット等はできないように設定している。IDやパスワードも個々の児童・生徒がそれぞれ違うものを使用している。

**Q デジタルシティズンシップ教育を含む情報モラル教育指導は。**

A ICT機器のよき使い手となるよう道徳の授業等で指導する。



校長会と連携し情報モラル教育指導の研修

## 一問一答
# 将来的に下水道広域化の考えは？

やまもとたかお
山本孝夫 議員

**Q 島田浄化センターと金谷のクリーンセンターの処理能力と処理能力に対する処理量（％）はそれぞれどの程度か。**

A それぞれ1日当たり、6900立方メートル、43％、1520立方メートル、97％である。

**Q 令和8年度までの下水道事業アクションプランで、どこまで処理量は進むのか。**

A 島田浄化センター5系統の内、1系統が92％まで進む見込み。

**Q 下水道計画は六合地区まで伸ばす計画か。**

A 国の政策動向等を見ながら総合的に判断する時期が来ている。

**Q 下水道事業会計に課題はないか。**

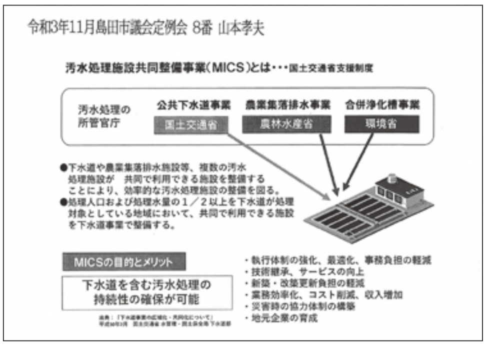
A 一般会計から総務省が示す繰入基準を超えた繰入をしている。

**Q 将来に向け下水道処理等の広域化についての考えはあるか。**

A 県で令和4年度に広域化計画が策定される予定である。

**Q 一般会計からの繰入を少なくすることも含め、アクションプラン後にまだ余力のある浄化センターを活用し、県の広域化計画に市が主体的に関わり、例えば下水道事業MICS手法などを利用して、この地域に合ったスタイルで下水道事業の広域化を考える必要があるのではないか。**

A 当市としても長期的な課題として県に投げかけ、下水道事業について全体的に見直しをしていきたいと思う。



汚水処理施設共同整備事業MICSとは

一問一答

# 削れるところは削る

横田川真人（よこたがわまさと） 議員

**Q 移住定住ポータルサイトの委託先はどのように決めたか。**

A 子育て、観光、お茶、ふるさと寄付金、移住の各分野におけるウェブサイトの機能強化業務を実施。統一性を図るため同一業者とした。

**Q 市内の業者に聞くと、もっと安くできるとのこと。相場がわからないことが原因ではないか。**

A なかなか難しい。外部アドバイザーに聞いて進めた。

**Q 内部に専門的な知識を有する人材が必要ではないか。**

A 必要に応じて採用はする。

## 下水道事業の見直しを

**Q 下水道事業の経緯は。**

A 昭和61年に全体計画1087haでスタート。現在、286haである。

**Q 令和8年までに326haの予定だとして、全体計画を完遂するまでにかかる期間は。**

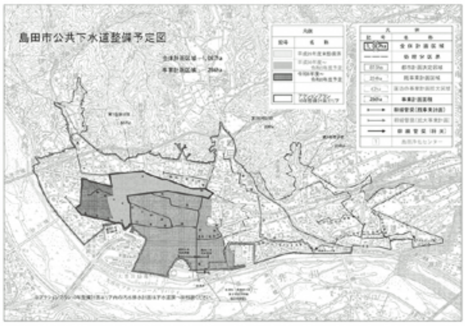
A 令和54年までかかる。

**Q 現在のアクションプランの面積で浄化センターの処理能力の上限に達する。もう一系列つくると費用はどのくらいか。**

A 35億円かかる。

**Q 現在のアクションプランで当事業を終了することを提案するがどうか。**

A 令和8年以降のことをきちんと公表できるようにしていきたい。




下水道は最低限でいい

包括

# 学校のトイレ完全洋式化でコロナ対策を！

平松吉祝（ひらまつよしのり） 議員

**Q 島田市の小・中学校トイレ洋式化率の推移と今後の計画は。**

A 平成28年度に49・7％、令和3年10月末で65・0％となった。全てを洋式化していくことを考えている。

**Q 照明、自動水栓、床の乾式化を考えているか。**

A 非接触型の点灯式照明や水栓等の設置を行っていく。

**Q 学校施設は災害時避難場所として利用される。多目的トイレの現状と今後は。**

A 現在16校に設置している。今後は、第一小学校体育館に設置を予定している。

**Q 教職員トイレの現状と今後は。**

A 便器数が不足し、老朽化している。今後は改修していく。

**Q タブレットのIDとパスワードの重要性についての指導、確認はどのようにしているか。**

A 一人一人個別のものを設定し、他人に知られないように管理する等の事前指導を行った。

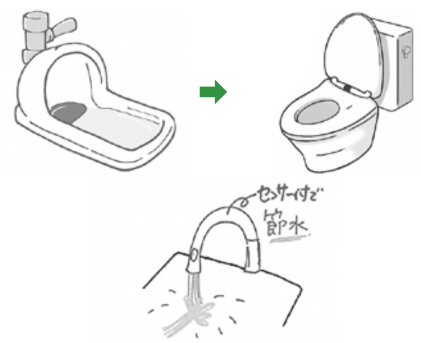
**Q タブレットを紛失、破損した場合の保険、保証は。**

A 保険は未加入。保証は1年。破損した場合は予備機で対応する。

## 北斗さんを島田市大使に

**Q SixTONES（ストーンズ）松村北斗さんを島田市ふるさと大使・観光大使に委嘱を。**

A 「個人としての活動についてはお受けできない」と返事が来た。




トイレ改修はコロナ対策の重要課題！

# 反対？ ザッ討論 賛成？

市議会定例会最終日に行われる議案採決の前に、賛成・反対の意見を表明する「討論」を行います。
11月定例会では、３議案について討論が行われ、賛成・反対の意見が表明されました。

## 【議案第88号】令和３年度島田市一般会計補正予算（第９号）

**反対**

コロナで重症化しやすい人が打つべき。若者への接種について、厚生労働省が12月３日のワクチン添付書に「心筋炎について重大な副反応と位置付ける」と明記した。11月の県内新型コロナウイルス感染者24人中17人が２度の接種を終えており、接種しても感染する割合が約８割の事案が相次いでいる。コロナ自体のリスクが極めて小さい年少者に、予防効果の薄い「心筋炎の恐れのある」ワクチン接種拡大は慎重にすべき。飲み薬が出てからでも遅くない。感情論でなく、実態をウヤムヤにせず事実検証を。副反応の集団訴訟の話も出ている。

**賛成**

新型コロナウイルスの変異種が感染拡大する兆候がみられる今、感染を防ぎたい市民のため、ワクチン接種体制を整えることは必要である。感染予防のため接種されるワクチンは専門的知見により承認されており、副反応に関してはメーカーの説明書を接種対象者に接種券と共に送るなど、事前説明の対応がされている。副反応の内、最も懸念されたアナフィラキシーは、事前想定により機材と対応医師を、また、消防署との連携を準備している。子どもたちの接種は保護者の同意が必要であり、同調圧力とならないよう配慮しており、これらのことから賛成する。

## 【議案第101号】市道路線の認定について

**反対**

道悦４丁目16号線への市道認定については議決を待たず、10月25日に島田市への所有権移転登記が完了していた。これは、議会の議決事項を定めた地方自治法第96条第１項第９号の「負担付きの寄附又は贈与をうけること」という条文に抵触する。「議決後の所有者移転登記」が既に完了していることは、全く不可解であり疑義が残る。地元の人も、市道路線認定についての説明はなく、市道認定には反対である。事業会社は議決を待たず、11月に2区画を売却済みで、瑕疵担保設定の確認をする必要もある。元の土地所有者の段階から慎重な調査が必要である。反対の最大理由は、危険道路であるということだ。

**賛成**

同案は宅地造成に伴い新設された道路を市道認定するものである。宅地造成や住宅新築による固定資産税の増収と、子育て世代の定住は福祉の担い手の増加と市の経済発展につながるものと考える。六合駅周辺の道悦旭町線は、大規模な拡幅整備工事がされ道路環境は大きく改善されている。近隣の狭隘道路に密集している住宅地の道路の拡幅は今後の課題であるが、当該道路は幅員５メートルと住宅地としては充分の広さで通り抜けもでき安全である。今後、市道認定されれば、市の管理となり将来にわたり安全な道路になることから賛成する。

## 【議案第107号】島田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

**反対**

島田市職員の期末手当を0.15カ月引き下げる条例改正に反対する。影響額は一人平均約５万円の減額である。コロナ禍により経済状況が悪化するもとで、政府が行った自粛要請と不十分な補償によって引き下げられた民間労働者の賃金に合わせるもので容認できない。新型コロナウイルス感染症対策や頻発する自然災害への対応など、市民の命と暮らしを守るために日夜奮闘する市職員に冷や水を浴びせるものである。この引き下げは、民間事業者、民間労働者にも波及し、消費を一層冷え込ませ地域経済を悪化させる。内需拡大には全労働者の賃上げこそ必要である。

**【採決結果一覧】**

○＝賛成
×＝反対
△＝棄権

| 氏名 | 横山 香理 | 天野 弘 | 石川 晋太郎 | 井上 篤 | 大関 衣世 | 曽根 達裕 | 山本 孝夫 | 森 伸一 | 八木 伸雄 | 横田川 真人 | 提坂 大介 | 平松 吉祝 | 藤本 善男 | 清水 唯史 | 桜井 洋子 | 四ツ谷 恵 | 村田 千鶴子 | 大村 泰史 | 青山 真虎 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 会派名 | 清流の風 | | | | | | 島田市民会議 | | | 島和（とわ）の会 | | | 創造島田 | | 日本共産党 | | 緑風しまだ | | 無会派 |
| 【議案第88号】令和３年度島田市一般会計補正予算（第９号） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 【議案第101号】市道路線の認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 【議案第107号】島田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ |

※議長（大石　節雄）は採決には加わりません。（並び順は会派ごと）　※「無会派」とは、会派に属さない議員のことです。

本誌、第81号（９月定例会号）に掲載しております記事中に誤りがありましたので、お詫びと訂正をさせていただきます。
21ページ採決結果一覧中、【議案第86号】事業契約の締結及び指定管理者の指定について森伸一議員【誤】○→【正】×

**議会活動レポート**

## 島田市総合計画に関する特別委員会

# 議会からの意見・提案事項一覧を意見として提出

特別委員会では、令和４年４月から令和８年３月までの、今後４年間の市政の基本的な方針として重要な位置づけをなす「第２次島田市総合計画後期基本計画」の策定に向けて、本市が進むべき方向性を検証し、未来を見据えた計画となるよう、市民からのパブリックコメントと並行して、議会として令和３年11月19日に示された基本計画（案）に対して調査・研究を行っています。

12月13日、本会議場で行われた委員会では、後期基本計画（案）の大別「はじめに」「未来に向けて」「基本構想」および「基本計画」における分野別まちづくりの方向性などに関して、各員から多数の施策の概要、前期基本計画での成果やその評価について質疑を行い、各政策分野別の提案をしました。

２月定例会において、当委員会の提案等が、最終計画案にどのように反映されたかを中心に審議します。

12月24日　市当局へ分野別の提案を手渡す

しまだ議会だより 令和4年2月15日 発行 No.82

議会活動報告

# 11/13（土） 議会報告会をリモートで開催しました

11月13日（土）、新型コロナウイルス感染症対策として、今回は自治会を対象としたリモート開催としました。18自治会の参加をいただき、9月定例会の報告を行ったほか、コロナ禍における自治会活動状況や自治会から市政に対する自由な意見を聴きました。リモート開催は初の試みであり、対面式とは違い、発言者側と聞き手側の意思疎通に戸惑うことが多くありました。意見交換の方法について、今後見直しを図っていきます。

## 編集後記

11月定例会は、新型コロナウイルス感染症が沈静化した中で、通常どおり一般質問を行いました。また、例年対面方式で開催している議会報告会は初めての試みとしてオンラインで行いました。

さて、2021年は東京オリンピック・パラリンピックの年でもありました。車いすバスケットボールでは地元出身の藤本怜央（ふじもと れお）選手が、BMXフリースタイルでは大池水杜（おおいけ みなと）選手が大活躍され、私たち市民に大きな感動を与えてくれました。今年も皆さまにとって良い年であることを期待し、議会だよりをお届けします。

**議会だより編集等に関する特別委員会**

【委員長】桜井　洋子
【副委員長】青山　真虎
【委　員】石川晋太郎、提坂　大介
天野　弘、清水　唯史

## ２月市議会定例会のお知らせ

※水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2/13 | 14 | 15 本会議（初日） 特別委員会全体会 | 16 常任・特別委員会（厚生教育）（経済建設） | 17 常任・特別委員会（総務生活）（予備） | 18 特別委員会全体会 | 19 |
| 20 | 21 | 22 | 23 天皇誕生日 | 24 議会運営委員会（一般質問割振り等） | 25 本会議 予算説明会 | 26 |
| 27 | 28 | 3/1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6 | 7 本会議（一般質問：代表・個人） | 8 本会議（一般質問：個人） | 9 本会議（一般質問：個人） | 10 | 11 本会議（議案質疑） 特別委員会全体会 | 12 |
| 13 | 14 常任・特別委員会（厚生教育） | 15 常任・特別委員会（経済建設） | 16 常任・特別委員会（総務生活） | 17 常任・特別委員会（予備） | 18 特別委員会全体会 総合計画㊕ | 19 |
| 20 | 21 春分の日 | 22 | 23 | 24 議会運営委員会 | 25 本会議（最終日） | 26 |

☆開会時間は…
本会議 9:30　㊕分科会（2/16・2/17）9:00・13:30
㊕全体会（2/18・3/18）および㊕分科会（3/14～16）9:30
総合計画㊕=島田市総合計画に関する特別委員会
（総合計画に関する議案を審査）

編集・発行／島田市議会
〒427-8501 静岡県島田市中央町１番の１
TEL〈0547〉36-7204　FAX〈0547〉37-2212
Eメール：gikai@city.shimada.lg.jp